

平成20年度 第12回「教育研究論文・教育実践賞」特選・入選・佳作 一覧表

応募総数：201

◇個人の部（特選2 入選5 佳作11 応募数130）

特選

教育会	学校名/氏名	論文題名
佐久	小諸市立東小学校 小林 新治	花開富貴 学級への所属意識を高める子どもたち～学級活動を中心として～
安曇野	明北小学校 小町谷 聖	特別支援教育の実践的研究 ～「全ての子どもに広げる特別支援教育のあり方」と「特別支援教育における保小、小中の連携の取組」～

入選

教育会	学校名/氏名	論文題名
諏訪	湊小学校 高木 克	「花育」で心を育てる
塩筑	麻績小学校 両角 孝之	話し合いを楽しみ、話し合う良さを感じられる学級会の在り方 ～自己表現し、友と深め合うスマイル学級会～
北安曇	仁科台中学校 筒井 年恵	日本音楽の革命児と呼ばれた「滝廉太郎」を授業で生かす ～音楽文化を伝承していく担い手としてできること～
長野	戸隠小学校 小林 俊子	理科学習における実感のともなった理解を図るための考察の持たせ方 ～4年「水のすがたの変化」の実践から～
高校	松本蟻ヶ崎高校 穂苅 稔	学びのスパイラル ～先輩たちと作った「戦時下の証言集」、そして「拉致問題」解決のために～

佳作

教育会	学校名/氏名	論文題名
上小	第六中学校 関谷 圭史	地域の方々と協力して進めたニホンジカの研究
諏訪	富士見小学校 小林 大介	高学年への読書指導 ～本との出会いを支援する試み～
上伊那	南箕輪小学校 森岡 晃	子どもの意識によりそって立ち上げる学級の中核活動
下伊那	阿南第一中学校 塩澤 宏子	個別歯科指導を必要とする生徒へ、学校での歯科指導のあり方
下伊那	上村中学校 田畑 孝宏	地域の自然や人と深く関わる体験的活動を通して育むふるさと原風景へのあこがれ ～野鳥観察やフクロウの保護活動を学級の中核活動に据えて～
木曾	南木曾中学校 志波 千恵子	思春期体験学習の実践について
更埴	屋代中学校 西澤 伊智朗	生徒が自己肯定感を高めていくための支援はどうあったらよいか
中野・下高井	中野平中学校 土田 恭博	知的財産を学べる技術・家庭科におけるロボコン学習
飯水	北信小学校 市川 勝	自分を見つめて学ぶ道徳教育 ～玲子さんに寄り添いながら～
松本	開成中学校 田中 麻里子	生徒が自ら考え、互いに正し合い、高め合う修学旅行 ～「笑顔でただいま！」到達点を意識して活動することを通して～
松本	筑摩小学校 馬場 英晃	子どもの内なるおもいに、教師はどう寄り添い、どう導いていったらよいか ～子どもの学びの筋道を見つめて～

◇グループの部（特選2 入選2 佳作6 応募数71）

特選

教育会	学校名/グループ名	論文題名
下伊那	飯田西中学校 3学年会	生徒の問題意識を育み、地域貢献の意味を追求するキャリア教育のあり方 ～「職業じゃないのに、曙友会の人たちの願いは何だろうか」の追及を通して～
長野	篠ノ井東中学校	「無言清掃」を基軸とした規範意識の醸成

入選

教育会	学校名/グループ名	論文題名
上小	本原小学校 特別支援教育研究部会	通常学級における特別な支援を必要とする児童の教育的ニーズに応じた支援のあり方 ～「個別の指導計画」作成と支援方法に関する分析～
諏訪	岡谷南部中学校 特別活動研究チーム	豊かな学びを育む学校づくりの挑戦 ～思いを伝え合い、連帯感や成就感を育む特別活動～

佳作

教育会	学校名/グループ名	論文題名
上小	東部中学校 健康教育研究グループ	子どもたちが自分の食生活を見返し、実践に結びつけることのできる食育はどうあったらよいか ～給食室洗浄体験や、毎日の給食残渣調査活動を出発点として～
上伊那	高遠小学校 音楽科研究グループ	音楽のかもし出している魅力を感じ取り、音楽活動を楽しむ子ども ～「音楽のしかけ」を読み解く力の育成～
上伊那	伊那中学校研究部	個々の力を一層伸ばし、わかる授業・楽しい授業の創造
木曾	木祖中学校 おおりの時間グループ	郷土とかかわる中で自ら学ぶ力を深め自らを高める総合的な学習
塩筑	麻績小学校 総合学習研究グループ	子どもたちが主体的に活動し、追及を深めていく総合的な学習の時間のあり方 ～麻績川カジカ復活プロジェクトの活動を通して～
上高井	小山小学校 総合的な学習の時間研究グループ	地域を題材に、人・ことと関わりながら、経験を知恵に生かしていく総合的な学習の時間は どうあったらよいか。～環境学習における「課題設定」「課題追究」の在り方～